

図書館だより

1985. 1. 25

第6巻4号

通巻92号

Bulletin of the Hokkai Gakuen University Library



帝国書院=ウェスターマン社

世界の環境アトラス

1985年刊
帝国書院

Book Up ブック・アップ

超高層を飛行する、地球観測衛星からの画像を、地理教育に役立てようと編集されたものです。

山、河、森、市街地等を一目で見ることが出来、また地図との対比が一層興味をそそります。

(290.38 G 35 開架コーナーにあります。)

もくじ.....

- △新着案内 —— 経済 2-3 / 法学 4-5 / 工学 6-7 / 教養 8-9 / 受入雑誌 10 / グリム生誕二百年を記念して 11 / アマデウスの冥想(最終回) 12
- △コラム —— 窓口から 2-3 / Seeing is believing 4-5 / レファレンス・コーナー 6 / 希望図書コーナー 7 / 開発研究所・判例演習室・工学部図書室 8 / 資格は一生 9 / ジャーナル・トピックス 10 / 私立大学図書館の動向 11

開館時間 本館 月～金曜日 9:30～20:00 土曜日 9:30～18:00
 工学部分室 月～金曜日 9:30～17:00 土曜日 9:30～13:00

資料案内

(昭和59年10月～12月に受入整理された圖書のうち主なものを選択して掲載してあります。)

◆ 経済関係新着資料 ◆

- 初学者のための経済学基礎入門 近代経済学研究編 富士書店 331.01 Ki42
- 国家と企業 角谷 登志雄著 京都 ミネルヴァ書房 331.34 Su67
- 金融機構の理論 山口 重克著 東大出版会 331.34 Y24
- ハイエクの社会・経済哲学 N.P. バリー著 春秋社 331.35 B24
- 現代マクロエコノミックス 上・下 R.J. ゴードン著 多賀出版 331.39 G67
- ケインズ経済学を超えて A. レイヨン著 東洋経済新報社 331.39 L53
- 入門マクロ経済学 中谷 巖著 日本評論社 331.39 N43
- サムエルソン心で語る経済学 P.A. サムエルソン著 グイヤモンド社 331.39 Sa59
- 近代経済学 新開 陽一著 有斐閣 331.39 Sh64
- サムエルソン経済学講義 上・下 都留 重人編 岩波 331.39 Ts84
- 現代資本主義と市場 千葉 燎郎〔等〕著 京都 ミネルヴァ書房 331.55 C42
- 国民経済計算の新展開 鈴木 多加史著 中央経済社 331.8 Su96
- 一般経済史 長岡 新吉〔等〕著 京都 ミネルヴァ書房 332 N18
- 経済帝国 J. Woronff 著 東洋経済新報社 332.1 W89
- 北海道拓殖・開発経済論 蝦名 賢造著 新評論 332.11 E15
- 北海道総合経済史 南 鉄蔵著 図書刊行会 332.11 Mi37
- 中国経済史 河上 光一著 八千代出版 332.22 Ka94
- 中国経済近代化の史的展望 大塚 恒雄著 白桃書房 332.22 O88
- 中国近代経済史研究序説 田中 正俊著 東大出版会 332.22 Ta84
- ソ連・東欧経済事情 岩田 昌征著 有斐閣 332.38 I97
- ソ連経済史 A. ノーヴ著 岩波 332.38 N97
- 概説アメリカ経済史 岡田 泰男〔等〕著 有斐閣 332.53 O38
- ラテン・アメリカの経済 細野 昭雄著 東大出版会 332.55 H95
- 現代資本主義と地域 S. ホランド著 法律文化社 332.9 H83
- アジアの開発と民衆 隅谷 三喜男〔等〕編 日本YMCA同盟出版部 333.6 Su67
- 資本主義世界の成立 藤瀬 浩司著 京都 ミネルヴァ書房 333.9 F66
- 現代資本主義叢書 27 現代中小企業研究 上 大月書店 333.9 G34
- 現代の世界経済と日本経済 上・下 日本科学者会議編 大月書店 333.9 N77

窓口から(1)

図書館長並びに各学部図書委員の紹介

館長 (委員長) 吉川 宏教授 (法学部)

委員 経済学部 西川博史教授

法学部 新山一範助教授

工学部 当麻庄司教授

教養部 葛西 忠教授

図書館備付の図書は、各先生方の研究費を除き全て図書館長並びに各学部図書委員の承認を得て購入されます。

1981年版「増加図書目録」刊行

1981年版(第19号)が、昨年9月に刊行されました。

和漢書、洋書約13,000冊を収録しています。「分類順排列」のほか、「書名索引」、「著者〈人名〉索引」の構成です。

閲覧カウンターにて、ご利用下さい。

なお、1982年版(第20号)は、本年3月刊行予定です。

経営学基礎講義 伊藤 淳己〔等〕著 中央経済社 335.1 I89	株式会社金融論 馬場 克三著 森山書店 338.66 B12
経営学入門 角谷 登志雄著 青木書店 335.1 Su67	日本資本主義の海外進出 福島 久一〔等〕編 青木書店 338.92 F84
多国籍企業論の系譜と展望 多国籍企業研究会編 文眞堂 335.38 Ta73	イギリス資本輸出史研究 入江 節次郎著 新評論 338.92 I64
協同組合間協同論 伊東 勇夫著 お茶の水書房 335.6 I89	経済・商系基礎統計 稲葉 三男〔等〕著 共立出版 350.1 I51
協同組合間提携の戦略的展望 協同組合提携推進事務局編 時潮社 335.6 Ky 2	統計入門 中村 隆英著 東大出版会 350.1 N37
現代ソ連の労働者と企業管理 I. ヴォルコチ〔等〕著 千倉 書房 335.7 V88	統計学 大屋 祐雪〔等〕著 産業統計研究社 350.1 O94
戦略策定 C.W. ホファー〔等〕著 千倉書房 335.9 H81	自己評価機能と社会的行動 横田 澄司著 酒井書店 361.5 Y78
人間関係考え直してみませんか 後藤 啓一著 喜進堂 335.95 G72	資料イギリス初期社会主義 都築 忠七〔等〕編 平凡社 363.02 Ts99
日本の労務管理 花岡 正夫著 白桃書房 335.95 H28	いま労働の豊かさとは 下田 博次著 朝日新聞社 366.021 Sh51
リーダーシップ行動の科学 三隅 不二不著 有斐閣 335.95 Mi55	現代日本の労働問題 星島 一夫著 法律文化社 366.2 H92
アメリカ労務管理形成史 田島 司郎著 京都 ミネル ヴァ書房 335.95 Ta26	日米欧の雇用と失業 笹島 芳雄著 東洋経済新報社 366.2 Sa74
人事管理の現代的課題 津田 真激著 税務経理協会 335.95 Ts34	産業心理学の方法と問題 伊吹山 太郎著 京都 ミネル ヴァ書房 366.94 I12
動的経営分析の基礎 上領 英之著 千倉書房 335.96 Ka38	産業心理学経営行動の科学 古賀 行義著 協同出版 366.94 Ko24
財務管理演習 西澤 修著 同文館 335.96 N87	現代の産業心理学 村中 兼松著 八千代出版 366.94 Mu51
経営分析 染谷 恭次郎著 国元書房 335.96 So36	現代農村計画論 富田 正彦著 東大出版会 611.15 To58
恐慌論 宇野 弘蔵著 岩波 336.9 U77	ビッグ・エイト M. スティーブンス著 日本経済新聞社 679.9 St 5
現代通貨論 原 薫〔等〕著 法政大学出版局 337.1 H31	
米国の金融政策と金融市場 P. ミーク著 時事通信社 338.3 Me16	

窓口から(2)

定期試験開始10日前から試験終了日まで貸出停止

期 間 2月6日(水)ー2月28日(木)

定期試験終了後長期貸出開始

長期貸出 3月1日(金)ー4月6日(土)

返本日 4月8日(月)

貸出冊数 3冊

開館時間変更

3月1日(金)ー4月6日(土)

月～金：9：30～18：30

土：9：30～15：00

休館：2月9日(土) 3月23日(土)

春休みに伴う工学部図書室開館日は現在未定。

◆ 法学関係新着資料 ◆

帝国議会衆議院議事連記録 68—70 東大出版会
314.45 Te25

帝国議会貴族院議事連記録 68—70 東大出版会
314.55 Te25

帝国議会貴族院委員会議事連記録 13 京都 臨川書店
314.55 Te25

帝国議会衆議院委員会議録 28 京都 臨川書店
314.55 Te25

司法省日誌—明治初期各省日誌集成— 15 東大出版会
317.23 Sh31

国際政治学 武者小路 公秀〔等〕編 有信堂 319 Mu84

戦後日本外交史 5. 経済大国への風圧 三省堂
319.1 Se64

判例辞典 六法出版社 320.98 H29

法律学の基礎知識 芦部 信喜著 有斐閣
321.01 A29

初学者のための法学基礎入門 現代法学研究会編 富士書
房 321.01 G34

法学概論 尾高 朝雄著 有斐閣 321.01 O17

法実証主義と功利主義 深田 三徳著 木鐸社
321.1 F71

法社会学の基礎理論 E. エールリッヒ著 みすず書房
321.4 E36

日本法史年表 熊谷 開作〔等〕編 日本評論社
322.1 Ku33

日本近代国家の法構造 日本近代法制史研究会編 木鐸社
322.16 N77

アメリカ法の軌跡 G. ギルモア著 岩波 322.93 G45

カナダ法概説 森島 昭夫〔等〕編 有斐閣 322.951 Mo64

各国憲法制度の比較研究 西 修著 成文堂 323 N81

樞密院會議議事録 8, 9 東大出版会
8. 明治32(1899)年下～明治33(1900)年
9. 明治34(1901)年～明治36(1903)年 323.34 Su66

注釈日本国憲法 上 樋口 陽一〔等〕著 青林書院新社
323.4 H56

現代行政法大系 9. 公務員・公物 有斐閣 323.9 G34

行政法の基礎 杉村 敏正〔等〕編 青林書院新社
323.9 Su39

行政法 下 田中 二郎著 弘文堂 323.9 Ta84

行政訴訟の構造分析 小早川 光郎著 東大出版会
323.95 Ko12

注釈行政不服審査法 南 博方〔等〕著 第一法規
323.95 Mi37

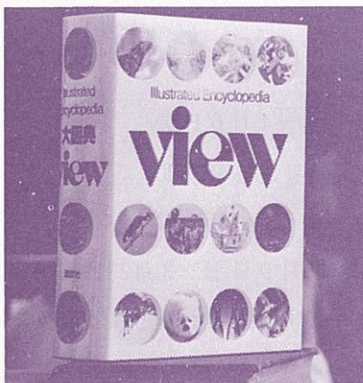
ワークブック民法 遠藤 浩〔等〕著 有斐閣 324.01 E59

新民法講義 3 乾 昭三〔等〕著 有斐閣 324.08 Sh64

演習民法：総則物権 遠藤 浩〔等〕編 青林書院新社
324.1 E59

公益法人の研究 林 寿二著 油南堂書店 324.12 H48

不動産実務ハンドブック 宅地建物取引実務研究会編 技
術書院 324.2 F52



Seeing is believing
見ることは信ずることである

I see. と言えば「了解」の意。I hear. は「責任持ちませんよ」って意味です。(「英語名句事典」より)。では「Illustrated Encyclopedia大図典View」なんてまるで視覚一辺倒、字よりも写真の方が多い全一卷の百科辞典。21世紀大図録のキャッチフレーズどおり、バイオテクノロジーの産物ハクラシ(ハクサイ×キャベツ)オフィスオートメーション(OA)の三種の神器オフィスコンピュータ、

担保法大系 第1巻 金融財政事情研究会 324.3 Ta89	刑法入門 大塚 仁著 有斐閣 326.01 O88
現代契約法大系 5 金融取引契約 有斐閣 324.52 G34	アメリカの刑事司法 E.H. サザランド〔等〕著 有信堂 326.3 Sh83
損害賠償の法律百科 新実業出版社 324.55 So42	諸外国の保安処分制度 泉 博編 日本評論社 326.48 I99
登記用語事典 津島 一雄編 六法出版社 324.86 To33	講義刑事訴訟法 能勢 弘之〔等〕編 青林書院新社 327.6 N97
商法論集 1-3 小橋 一郎著 成文堂 1. 総則・会社 2. 商行為・手形(1) 3. 手形(2)	刑事訴訟 横川 敏雄著 成文堂 327.6 Y74
会社法 本間 輝雄〔等〕著 青林書院新社 325.2 H85	目撃者の証言は信頼できるか R.バックホート著 日経 サイエンス社 327.626 B82
会社法詳説 神崎 克郎著 中央経済社 325.2 Ka59	マリアンネの犯行 H. ゲープハルト著 集英社 327.8 G31
最新会社法概説 大隅 健一郎〔等〕著 有斐閣 325.2 O79	国際法の解剖 J.G. メリルス著 敬文堂 329.01 Me67
コンメンタール会社法 田中 誠二〔等〕著 勁草書房 325.2 Ta84	国際和法講義 山田 録一〔等〕著 青林書院新社 329.6 Y19
会社法演習 1, 2 上柳 克郎〔等〕編 有斐閣 1. 総論・株式会社(設立・株式) 2. 株式会社(機関) 325.2 U51	国際取引ハンドブック 澤田 壽夫編 有斐閣 329.65 Sa93
会社法・手形法論集 上柳 克郎著 有斐閣 325.2 U51	銀行取引法 田中 誠二著 経済法令研究会 338.32 Ta84
取締役の職責と取締役会 並木 俊守著 中央経済社 325.243 N47	手形・小切手と銀行取引 御室 龍著 経済法令研究会 338.15 Mi34
例解問答株式会社の合併・分割・清算・更生 加藤 一昶〔等〕 編 清文堂 325.248 Ka86	権力と社会 鈴木 幸壽編 誠信書房 361.4
保険契約の法理 倉沢 康一郎著 慶應通信 325.41 Ku55	国際労働基準とILO N. バルティコス著 三省堂 366.1 V24
手形法・小切手法入門 前田 庸著 有斐閣 325.61 Ma26	労災補償と損害賠償 岩村 正彦著 東大出版会 366.36 I94
法益概念史研究 伊東 研祐著 成文堂 326.01 I89	

ファクシミリ、ワードプロセッサ等最先端の情報を掲載、又現在盛んなアウトドアライフについては6頁にわたって用具ロープワークの基本の説明があり、読み疲れたら枕にしても丁度良い高さなのです。同じく講談社、昭和58年刊の「大事典desk」も全一巻。末尾に便利情報コーナーがあり、手紙の書き方、小倉百人一首、ワールドアトラス等がすぐわかるお薦め品です。今や応接間に飾る百科事典から、枕にする百科事典へと、時代は変わったのでありますね。



◆工学関係新着資料◆

技術者のための数学の要点 4, 5 理工図書 4. 常微分方程式の解法 5. 応用解析	410.8 G34		
パソコンによる境界要素入門 黒木 健実〔等〕著 森北出版	421.46 Ku75		
災害の科学 島海 勲著 森北出版	451.9 To68		
陸水と人間活動 門司 正三著 東大出版会	452.9 Mo36		
地震と地盤災害 守屋 喜久夫著 鹿島出版会	453.2 Mo72		
マイコン構造力学演習 荒牧 軍治〔等〕著 理工図書	501.34 A64		
構造解析学演習 1, 2 小松 定夫著 丸善	501.34 Ko61		
エネルギー最前線 加納 時男著 日本放送出版会	501.6 Ka58		
エネルギー問題と経済政策 T. グムス編 東洋経済新報社	501.6 Ma76		
土木のアプローチ 榎木 享〔等〕著 技報堂	510.1 Sa97		
土木学会北海道支部論文報告集 昭和58年版	P510.5 D81		
1集土木ボケコンプログラム入門 萩原 浩編 近代図書	510.7 H14		
マイコンによる4集土木実用プログラム入門 萩原 浩編 近代図書	510.7 H14		
現場管理のためのパソコン活用法 掛井 連〔等〕著 山海堂	510.7 Ka24		
土木技術者のためのプログラム計算マニュアルPART3 佐藤 勝夫著 山海堂	510.7 Sa85		
マイコンによる3集土木実用プログラム入門 住友 栄吉編 近代図書	510.7 Su66		
土木特殊シリーズ 4, 7, 8 森北出版	410.8 G43		
4. NATM1 7. 斜面安定工法 8. 埋込み杭工法	510.8 D81		
現場技術者必携 5, 7 森北出版			
5. 河川・砂防・海岸 7. 港湾	510.8 G34		
土質工学演習 浅川 美利著 鹿島出版会	511.3 A84		
土質力学 松尾 新一郎編著 山海堂	511.3 Ma85		
石灰安定処理工法 下田 正雄著 鹿島出版会	511.3 Sh51		
土質力学 山口 柏樹著 技報堂	511.3 Y24		
土質調査の基礎知識 小松田 精吉著 鹿島出版会	511.37 Ko61		
建設材科学 樋口 芳朗〔等〕著 技報堂	511.4 H56		
コンクリートライブラリー 53, 54 土木学会編	511.7 C86		
コンクリート工学年次講演会論文集 6	511.7 N77		
現場測量の知恵 福永 宗雄著 山海堂	512.01 F79		
教程平板測量 北橋 直著 山海堂	512.2 Ki64		
わかりやすい土木見積りの知識 宮桑 春樹著 鹿島出版会	513.1 Mi73		
建設省土木工事積算基準に基づく仮設構造物の積算必携 本山 蒨編 近代図書	513.1 Mo92		
マイコンによる1集土木積算プログラム入門 大庭 隆夫著 近代図書	513.1 O11		

レファレンス・コーナー

関東大震災による「支払猶了令」について

過日参考係に学生から、関東大震災（大正12年9月1日）後の支払猶了令とは、どのような法令か知りたい、という質問があった。

先ず「法令全書」と思われたが大正期は所蔵しておらず、次に「朝日新聞に見る日本の歩み 大正11年—12年」（朝日新聞社編1975年刊）を参照し

た。

大阪朝日新聞（大正12年9月7日朝刊）によると、三大緊急勅令として、1. 暴利取締勅令、2. 支払猶了の緊急勅令、3. 流言浮説取締令の一つであることが判明した。

なお、この三大緊急勅令は「9月7日付を以って公布、即日施行された」と記事は報道している。

マイコンによる土木構造力学プログラム入門 山内 博 〔等〕著 近代図書 513.1 Y46	環境白書 昭和59年版 環境庁編 519.4 Ka56
シートによる軟弱地盤表層 西林 清茂著 鹿島出版会 513.3 N81	都市モデル D.Foot 著 丸善 519.8 F38
堀削における計測施工 青山 一郎著 鹿島出版会 513.32 A58	都市づくりの心 谷藤 正三著 森北出版 519.8 Ta87
マイコンによる足場・支保工設計計算プログラム入門 飯 村 耕作者 近代図書 513.4 I27	建築用語ポケットブック構造編 成田 春人〔等〕編 丸善 520.3 Ke41
仮設構造物設計計算プログラム入門 本山 蒼編 近代図 書 513.4 Mo92	GA Document 10 P520.5 G52
ケーソン工法 白石 俊多著 鹿島出版会 513.4 Sh82	アテネより伊勢へ 堀川 勉著 彰国社 521 H89
道路工学 内田 一郎著 森北出版 514.01 U14	ポケコンによる鉄筋コンクリートの計算 徳永 一視著 山海堂 524.7 T41
道路実務講座 1～6, 8, 11 山海堂 1. 一般道路の計画と設計 2. 街路の計画と設計 3. 高速道路の計画と設計 4.5. 道路土木 I, II 6. 道路舗装の設計 8. 道路舗装の維持修繕 11. 道路構造物の設計と施工 514.08 D87	イラスト UKEOI 塗装 小川 豊著 山海堂 525.58 O24
パソコンプログラム電卓によるクロソイド曲線の設計と設 置 金井 弥太郎著 山海堂 514.1 Ka44	ソフトウェア革命 土方 智著 技術と人間 535.54 H56
新鉄道土木シリーズ 7 鉄道橋(2)コンクリート構造 山 海堂 516.08 Sh69	データベースシステム概論 C.J.Date 著 丸善 549.9 D44
海洋構造物入門 W.J.Graff 著 技報堂 517 G75	宅地建物取引主任者精選問題 宅建試験研究会編 理工図 書 676.9 Ta73
標準水理学 本間 仁著 丸善 517.1 H87	交通工学ハンドブック 交通工学研究会編 技報堂 680.3 Ko94
下水道実務講座 別巻1 技街者のための下水道関係通達集 昭和59年版 山海堂 519.2 G38	
新しい下水道方式の計画と設計 小山 隆昭〔等〕著 鹿島 出版会 519.2 Ko97	
絵でみる下水道工事 大内 弘著 山海堂 519.2 O91	



希望図書コーナー

昨年10月以降からの購入希望図書は、次の通り
です。

- ドナルド先生のイラスト BASIC (D.アル
コック)
- 現代の産業心理学 (村中 兼松)
- 現代労働市場論 (美崎 渚)
- イギリス中世社会経済史論 (藤田 重行)
- イギリス帝国経済史の研究 (矢口孝次郎)
- 人事・労務の経営学 (矢吹 輝男)

- 石油文明の次は何か (槌田 敦)
 - 戦後経済政策論の争点 (荒 憲治郎)
 - 多角化戦略と経済成果 (R.D.ルメルトン)
- 以上の図書は、図書委員承認ののち購入される
予定です。なお上記図書は、いずれも研究室備付
として、購入されており急を要する場合には、研
究室からの借用も可能です。
閲覧カウンターに申し出下さい。

◆ 教養関係新着資料 ◆

図書館資料の受入 S.フォード著 勁草書房	014.2 F39
日本書誌学大系 39 江戸の和学者 書裳堂	020.8 N77
東西思想の超克—現代の課題— 根井 康之著 農山漁村文化協会	104 N62
日本人の死生観 相良 亨著 ぺりかん社	114.2 Sa13
精神と自然 G.ベイトソン著 思索社	115 B15
論理学史 山下 正男著 岩波	116.01 Y44
構造と力 浅田 彰著 勁草書房	116.9 A81
ヴォルテールの世界 高橋 安光著 未来社	135.41 Ta33
心理学の基礎知識 東 洋著 有斐閣	140.1 A99
教養の心理学 村田 孝次著 培風館	140.1 Mu59
現代心理学—シリーズ—8 経営の心理 福村出版	140.8 G34
現代青年の心理と行動 瀧本 孝雄〔等〕著 福村出版	143.4 Ta73
ドイツの歴史家 1—4 H.U.ヴェーラー編 未来社	201.28 W54
病の文化史 上・下 M.サンドライユ著 リプロポート	209 Se59
日露・日ソ関係200年史 杉森 康二〔等〕編 新時代社	210.18 Su38
分断時代の歴史認識 姜 萬吉著 学生社	221.07 Ka43

コーヒーハウス 小林 章夫著 駸々堂	233.06 Ko12
ドイツ史研究入門 西川 正雄編 東大出版会	234 N83
スペイン革命におけるアナキストと権力 C.M.ロレンソ著 JCA 出版社	236.07 L88
歴史を変えた決断の瞬間 会田 雄次著 角川書店	281.04 A24
池田 成彬伝 今村 武雄著 慶應通信	289.1 I44
日本歴史地理概説 菊地 利夫著 古今書院	291.018 Ki24
ジャパニーズ・マインド R.C.クリストファー著 講談社	302.1 C58
アフリカの黒い瞳 L.ヴァン・デル・ポスト著 思索社	302.4 V26
地球病の時代 G.リーン著 日貿出版社	304 L47
戦後日本外交史 5 経済大国への風圧 三省堂	319.1 Se64
北方領土とソ連外交 重光 晶著 時事通信社	319.138 Sh28
ソ連の立場 G.A.アルバトフ著 サイマル出版社	319.38 A67
アメリカの死んだ日 G.トマス TBSブリタニカ	336.9 Th 5
社会学理論と社会思想 横山 寧夫著 慶應通信	361.2 Y79
離婚大国ソ連の女性に何が起きたか 川上 恭正著 講談社	367.238 Ka94
福祉国家への歩み M.ブルース著 法政大学出版会	369 B78

開発研究所, 判例演習室, 工学部図書室

北海学園大学の全蔵書は、本館の他開発研究所、判例演習室、工学部図書室に分置されています。学生の方は、どなたでもご利用になれます。

開発研究所 (研究棟 1 F)

閲覧時間

月・水・金 : 9:30—19:30
 火・木 : 9:30—16:30
 土 : 9:30—12:30

判例演習室 (3号館 2 F)

月・水・木 : 10:00—16:30
 火・金 : 10:00—16:30, 17:00—19:30
 土 : 10:00—13:00

閲覧とコピー依頼が可能です。

工学部図書室 (南26条西11丁目工学部 4 F)

閲覧, 館外貸出, コピー依頼全て本館と同じですが、工学部キャンパスにあるため、本を取り寄せるのに2・3日かかります。又直接行って利用できます。

教育を追う校内暴力の底流 毎日新聞社編 同編者 374.92 Ma31	ワインの話 湯目 英郎著 新潮社 588.55 Y98
ルポ少年たちの叛乱 村上 義雄著 朝日新聞社 374.92 Mu43	メキシコ美術紀行 加藤 薫著 新潮社 723.56 Ka86
俺たちは先生を殴った 生江 有二著 五月社 374.92 N47	中国語基本語ノート 興水 優著 大修館 824 Ko86
校内暴力 沖原 豊著 小学館 374.92 O51	標準中国語会話 長谷川 寛著 白水社 827.8 H36
学力回復の授業方略 佐伯 正一編著 明法図書 375 Sa14	現代中国語会話 林 暁蓉〔等〕著 白水社 827.8 H48
いま学校で 1 小学校(勉強・通信簿) 毎日新聞社 376.08 I42	例文活用ロシア語基本単語集 佐藤 純一著 白水社 884 Sa85
私大経営に問う 中村 忠一著 同文館 377 N37	標準ロシア会話 東 一夫〔等〕著 白水社 887.8 A99
近代日本の海外留学史 石附 実著 京都 ミネルヴァ書房 377.6 I84	鑑賞漢詩のこころ 佐藤 保〔等〕著 有斐閣 921 Sa85
女の出発(たびだち)―ハーバード・ビジネススクール― 斎藤聖美著 東洋経済新報社 377.6 Sa25	恐怖の権力 J.クリステヴァ著 法政大学出版会 901 Kr17
心身障害児の療育相談 安藤 春彦著 有斐閣 378 A47	和田 徹三全集 1-4 和田 徹三著 沖積舎 1. 詩篇 1 2. 詩篇 2 3. 児童文学論 4. 翻訳論 910.8 W12
日本民俗文化大系 9 暦と祭事 小学館 382.1 N77	破獄 吉村 昭著 岩波 913.6 Y91
日本の食生活全集 3 岩手の食事―聞き書― 農山漁村 文化協会 383.8 N77	太平洋戦争日記 1-3 伊藤 整著 新潮社 915.6 I89
シーレーン・海の防衛線 NHK 取材班編 日本放送出版 協会 392.1 N77	免田 栄獄中記 免田 栄著 社会思想社 915.9 Me41
ドイツ参謀本部 B.リーチ著 原書房 392.34 L46	
戦争のテクノロジー J.F.ダニガン著 河出書房新社 393.3 D97	
ノイローゼ 佐治 守夫〔等〕編 有斐閣 493.74 Sa26	
腎臓の病気 杉野 信博編 背斐閣 494.93 Su42	



資格は一生…… 4月卒業の皆さんへ

閲覧, 館外貸出, コピーサービス等, 卒業後も在学中とほぼ同じ条件で, 図書館を利用する事ができます。なお, 帯出証は新たに作成して下さい。

就職後の勉強に, 停年退職後の趣味としての読書に, 図書館をご利用下さい。

長期貸出制度について

卒業論文・ゼミ論文等のため, 多くの資料を必要とする場合, 通常, 貸出2冊の他に5冊, 1ヶ月間の長期貸出を受けることができます。

カウンター備付の所定申込用紙に, 指導教員の印鑑あるいはサインを受領のうえ, カウンターにお申込下さい。

大変便利なこの制度を有効にご利用下さい。

受入雑誌

(昭和59年10月～12月現在)

- 愛知大学総合郷土研究所 資料叢書 1—4集：
昭52—昭58+
- 愛知大学大学院社会科学論集 1984+
- あらじん(日外アソシエーツ) 創刊号：昭59年
10+
- 中央大学保健体育研究所紀要 2号：昭59年3
月+
- コンピュータロール 7号：昭59年7月+
- エコノ(経済広報センター) 創刊0号：昭59年10
月+
- ファイナンス(日本証券経済研究所) 1—2：昭
59年4月+
- 北海道立地下資源調査所年報 昭58年度(昭59年
10月刊)+
- 北欧(北欧文化道信社) 1巻—5巻(1—20)：昭
47年10月—昭53年7月
- 地すべり学会北海道支部ニュース 1号：昭59年
12月+
- 国際大学大学院国際関係学研究科研究紀要 1
号：昭58年3月+
- [京都外国語大学]SELL 創刊号：1984年10月+
- 松山商科大学地域研究 第1巻1号(22号)：昭59
年6月+
- [日本大学]Nihon University comparative Law
1：1983+
- 日経パソコン 18号：昭59年9月+
- 立正大学経済研究所研究双書 8—10：昭51—昭
55+

- 札幌学院商経論集 1巻1号(37号)：昭59年7
月+
- 常盤学園短期大学研究紀要 水戸 12号：昭58年
12月+
- 東京女子大学社会学会紀要 経済と社会 12号：
昭59年2月+
- 都市計画 別冊 学術研究論文集(日本都市計画学
会) 19号：昭59年度+
- 図書館史研究(図書館史研究会) 1号：1984年8
月+
- 和光経済研究叢書(和光大学社会経済研究所) 1
号：昭59年9月+
- Walk(ウォーク) 1巻2号：昭59年6月+
- ウッドライフ(山と溪谷社) 1—4, 7—9,
11—12：昭53—昭59+
- 横浜市立大学図書館報；ふおん 7号：昭59年9
月+
- 雪と道路(北海道開発技術センター) 1：昭59年
10月+
- Entscheidungen des obersten Gerichts der Deut-
schen Demokratischen Republik；Straf-
sachen 1—16：1951—1977
- Journal de la Societé de Statistique de Paris
1—122：1860—1981
- Monthly notes of the Library Association of
United Kingdom 1, 3：1880, 1882
- Thin walled structure 2：1984+
- Die Zeichen der Zeit 1—25：1947—1971

'83年度道内私大図書館の動向

	職員一人当り 奉仕対象学生数	学生一人当り 貸出冊数	学生一人当り 図書費	学生一人当り 受入図書冊数	開架率
総合	北海学園 416.4人	1.55冊	8,896円	2.20冊	9%
	札幌学院 306.3	4.16	10,589	3.65	52
文科系	旭川 176.4	2.55	9,383	3.15	15
	札幌 函館 227.8	2.74	9,534	2.13	34
	函館 173.4	1.15	22,057	4.93	4
	藤女子 118.4	23.58	16,254	6.32	100
	北星 271.3	5.79	8,809	2.52	100
理科系	北海学園北見 243.7	2.05	14,555	16.93	100
	東日本 163.7	5.78	7,488	3.21	—
	道工 414.9	4.30	4,586	0.93	26
	薬科 293.3	2.39	20,693	2.36	10
	酪農 249.9	1.46	14,376	2.27	7
東海 230.7	4.91	7,370	2.79	93	

『日本の図書館'84』より

『日本の図書館'84年』版から道内の私大図書館の動向をみてみました。
全体として本学図書館の活動が上昇に転じているものの道内の他館と比較すると、必ずしも高い水準とはいえず、今後一層の奪闘がのぞまれるといえそうです。

グリム生誕二百年を記念して

瀬川修二

グリム兄弟は一体化してグリムと名づけられることが多いが、それは彼らが世界的に有名な「グリム童話」を意味するほど、グリム兄弟と「グリム童話」は結びつけられて考えられる。今年でグリム生誕二百年であるが、兄ヤーコップ・グリムの生まれは1785年、弟ヴィルヘルム・グリムの生まれは1786年であるから、正確にはヤーコップ・グリムの生誕二百年と言わなければならないが、しかしこのような区別は無意味であろう。先に述べたようにグリム兄弟はお互いに切り離して考えることは出来ないからである。

グリム童話はグリム兄弟によって創作されたのではない。そうではなく、グリム童話はグリム兄弟がドイツに古くから伝わる民話、昔話を様々な人々から聞き、それを収集、編集したものである。この点が、例えば、アンデルセンの童話がアンデルセン自身によって創作されたことによって創作童話と言われるのに対して、グリム童話が民族童話と呼ばれる理由である。グリム兄弟にとっては想像力によって童話を作ることよりも、民話、伝承を通してドイツ民族の魂、心を探り、それを明るみに出すことが問題だった。それは文学的創造というよりも文献学的、民族学的作業である。兄ヤーコップは民話、伝承の忠実な再現に重きを置き、弟ヴィルヘルムは民話の文学的表現化に努めた。しかし、弟ヴィルヘルムは言い伝えを勝手に、自由に改作したのではなく、兄同様、伝承に忠実であろうとした。グリム兄弟が彼らの収集した民話、伝承を勝手に作り変えなかったことがグリム

童話を世界的に普及させた要因の一つと言われていた。言い伝えに文学的脚色を施していたならば、民話はその素朴さを失っていただろうし、又民話の中に一つの教訓を織り込もうとするならば、童話はわざとらしい、不自然になってしまっていただろう。もちろん、グリム童話の中に教訓を見つけることは出来る。正直者、貧しい人、恵み深い人は最後には金持ちになり、幸福を勝ち得る。又美しいお姫さまと結婚し、王様になったりする。しかし、すべての話がそのようなパターンで語られているわけではない。むしろ、教訓から自由なメルヒェンの世界が展開される。そこでは人間が動物になったり、死んだ人が生き返ったり、現実には不可能な事が起こる。それをたわいのない話として片づけるべきではないだろう。むしろ、このような話を言い伝えて来た人々の夢、願い、想像の喜びを見い出すべきだろう。

グリム童話の中の「白雪姫」、「ブレーメンの音楽隊」、「ヘンゼルとグレーテル」などは世界的に有名であるから、話の内容を知っている人は多いと思うが、きちんと読んだ人は少ないのではないだろうか？ストーリーを知っていてまだ読んだことのない人、又童話をただ子供のためのものと思っている人にはグリム童話の一読をすすめたい。

グリム童話と並んでグリムの「ドイツ語辞典」(全16巻、32冊)も忘れてはいけない。このドイツ語辞典は1838年に着手され、グリム兄弟死後様々な学者によって引き続き編集がなされ、1961年に完成された。文例が非常に多く、余りにも詳細すぎるため、実用的ではないという批判を受けるが、単に単語を引くのではなく、いわゆる読む辞典として一つの言葉の使い方の歴史の変遷を調べたりする上では貴重な辞典である。

グリムの方程式一兄・生誕200年

『グリム童話』は今も新しい。グリム兄弟が共同で収集したのは図書館員時代の20歳はじめ。それから今日みる『童話』になったのが50年後。二人の関係はゲーテとシラーのように、(兄+弟)+(弟+兄)=4(グリム)と評したのはドイツ文学者の高橋健二氏である。兄・ヤーコップ・グリムが生まれた1785年は日本の天明5年である。

ジャーナル・トピックス

日本の心のふるさと「白秋・生誕100年

日本では北原白秋生誕100年。福岡県柳川の生れ。早大中退。野をうたう詩人。

「遠きもの まず揺れて、つぎつぎに目に揺れて、揺れ来たるもの、風なりと思う間もなし、我いよよ揺られはじめぬ」(「風」)

「からまつの林を過ぎて、からまつをしみじみと見き。からまつはさびしかりけり。たびゆくはさびしかりけり。」(「落葉松」)



アマデウスの冥想

(最終回)

だれよりも“春へ憧れた”魂
—冬の銀河系へ旅立っていったモーツァルト—



この世の旅人モーツァルトに冬の日が訪れる。民衆がモーツァルトを見出したその時に、“自由な芸術家”は生の戦いに傷つき倒れたのだ。

窓ごしに降る雪を眺めて冥想するモーツァルト。彼の脳裡によみがえるのは30年前、モーツァルト5歳の冬、父に伴われて訪れたボヘミアの奥、スロバキア地方の都ブラチスラヴァの人人の温いもてなしの日々ではなかったか。彼はそこで「狩の音楽」を耳に刻んだのだ。

1791年12月5日、厳寒のウィーンの前夜、モーツァルトは“冬の銀河系”へと旅立った。彼がこの世に残した音楽こそ限りなく広がりをもつ「音の宇宙」であった。これこそはかつて古代ギリシャの数学者ピュタゴラスが夢想したであろう「音階の極美」のまぎれもない結晶であろう。

ロマン・ロランはモーツァルトを賛えて彼を「永遠の平和の泉」と呼び、「神と人間」を結んだバッハや「苦悩から歓喜」を見出したベートーヴェンよりもはるかに高い音楽家とみなした。(『ありし日の音楽家』所収「モーツァルト」)

モーツァルトは始めから終わりまで「野の音

楽家」であり「民衆の音楽家」であった。と同時に彼は「啓蒙の音楽家」でもあった。「啓蒙」をフランス語で lumière (光) と言う。光を求め光を与えた音楽家は「永遠の子供の心」を持つのだろうか。

最期の年、1791年初頭、モーツァルトは野に遊ぶ子供の写し絵である多くの『ドイツ・田園舞曲』と共に歌曲『春への憧れ・K 596』(Sehnsucht nach dem Frühling) を作曲した。

大好きな五月、早く来ておくれ
木々をまた緑にして
ぼくの小川のほとりに
小さなスマイルを咲かせておくれ!

子供の心に託くしたこの弾むように、明るく、心澄みきった歌の中に「死を生の最終目標」とし「最良の友」と呼んだモーツァルトの“生への憧れ”を聴く。モーツァルトがこの曲にこめた魂こそ「永遠の平和への意志」ではなかったか。モーツァルト没後200年を目前にした今もなお、我々は彼が望んだような「春」をこの世に見い出してはいないのである。〔完〕 (乙)

編集後記

一年間の勉強をしめくくる期末試験が開始されます。寸前になるまで遊びほうけることなく、徐々に復習を始めましょう。静かな、そして暖かな図書館で。悔いのない試験を済ませたら、春休み・卒業と、それぞれの開放感を満喫して下さい。今年度の「だより」はこれで終り。新図書館建築など今年度は、館員にとって多事な年になりそうです。

よりいっそうの充実をめざして、利用者本位の図書館へと館員一同励んでおりますので、利用者各位の多くの声々を期待しています。

北海学園大学附属図書館報

図書館だより

Vol. 6 No. 4
(通巻 92号)

北海学園大学附属図書館
一本 館一

〒062 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号
電話(011)-841-1161(代表)
内線、総務係272 閲覧係274~275
図書係273

—工学部分室—
〒064 札幌市中央区南26条西11丁目
電話(011)-561-2911(内線)64